

福岡商工会議所 2019年度 事業計画(案)

ウォーク
(犬種:福岡犬)



当所は以下の計画に基づき、2019年度の各事業を推進いたします。

地域の商工業者の皆様と福岡市の発展のために、不断の工夫・改善を重ねながら、地域の皆様や都市の課題解決に取り組んでまいりますので、何卒、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■基本方針

- ▶ 中期方針の中間年度として、各事業の質を高めるため、事業の「目的」を常に意識し、部署間連携を深めることにより事業のスピードを上げて、確実にPDCAを回すことに徹底して取り組む。
- ▶ 2019年度に予定されている様々な政府の施策や制度などに対して、事業者が不安なく十分対応できるよう、万全の支援体制で臨む。
- ▶ 140周年を念頭に置き、事業運営に取り組む。

重点項目 (9項目)

- ★事業1 MICE、観光、インバウンド支援(交流人口の増加)
～国内外の観光需要の取り込みに向けた活動強化～
- ★事業3 海外展開支援
～企業の海外展開支援～
- ★事業6 人材確保の包括的支援
～企業の採用活動への支援強化～
- ★事業7 人材育成支援
～企業を担う人材のスキルアップ支援強化(リカレント教育等の取り組み)～
- ★事業8 創業支援(スタートアップ支援)
～特区を活かした創業促進～
- ★事業9 事業承継支援
～大企業承継時代を見据えた事業承継への対応強化～
- ★事業10 IT・ICTの活用による生産性向上支援
～身の丈ITの徹底普及による労働生産性の向上～
- ★事業11 イノベーション支援
～第4次産業革命を踏まえたイノベーションの促進～
- ★事業14 会員純増に向けた入会促進、退会防止強化
～会員ニーズ分析による計画的アプローチとフォロー強化～

■中期方針(2018年度～2020年度)

【理念】商工業の改善・発達と福岡の発展

【中期方針のビジョン(目指す姿)】
～質的向上によるサービス充実～

アジアの拠点都市
として活力溢れる
福岡の構築

地域を支え、
成長し続ける
商工業者の支援

信頼され、
進化し続ける
福岡商工会議所の
実現

会議所の
強み

I 事業サービス改革
II 事業マネジメント改革
III 人材マネジメント改革

関係
支援先

I. アジアの拠点都市として 活力溢れる福岡の構築

- ▶ 成長著しい福岡の強みを生かした産業・経済振興
- ▶ アジアの拠点都市にふさわしい都市機能整備促進

① MICE、観光、インバウンド支援(交流人口の増加)

- ◆ MICE・観光振興委員会で、MICE開催・誘致促進に向けた研究を進めるとともに、統計資料や市場ニーズ等を踏まえた観光振興策を研究し、事業に活かす。
- ◆ 着地型観光による博多旧市街エリアの回遊・賑わいを拡大する事業を展開し、地域企業の発展を支援するとともに、福岡市と連携し、観光関連施設・地域団体による着地型観光プラットフォームを組成し、当所が窓口となり民間の観光事業者や伝統芸能団体とつなぐ体制を構築する。
- ◆ 伝統芸能や祭りなどの文化体験型イベントを実施し、観光資源を内外にPRすることにより、福岡市の賑わいを創出するとともに、交流人口増加による経済効果の波及(インバウンドに対応するキャッシュレス推進など)、および、都市ブランド力の向上を目指す。

- ◆ 福岡・九州全体の観光産業の活性化に向けて、観光関連産業の販路拡大を支援する。
- ◆ G20 福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議の開催に合わせて福岡市と連携して関連事業を実施する。
- ◆ ラグビーワールドカップ(RWC)開催に合わせて、「RWCおもてなしイベント(仮称)」を開催し、地域への経済波及効果の最大化を図る。その過程において、関係団体との連携体制を確立し、東京オリンピック・パラリンピックや世界水泳等の世界的イベントでの同様の取り組みにつなげる。
- ◆ 熊本復興PRイベントとして、九州の食と物産が集結する「九州・火の国元気まつり」を開催する(九州地域戦略会議主催の「祭りアイランド九州」と連携し、同時期に開催)。
- ◆ ファッションとコンテンツ産業、美容や食との連携・融合を推進し、「ファッションの街」を発信し、国内外からの交流人口増加を図る。

【主な活動】MICE・観光振興委員会、着地型観光メニューの拡大、博多どんたく、博多をどり、博多伝統芸能館、観光商談会、G20 福岡関連事業【新規】、RWC おもてなしイベント【新規】、九州・火の国元気まつり【新規】、FACo、F マンス など

② 食産業振興支援

- ◆九州一円の「食」でバイヤー・消費者に九州・福岡の食をアピールする「Food EXPO Kyushu」、市域内の飲食事業者を発掘する「博多うまかもん市」、バイヤーとの商談の場を提供する「個別商談会」を活動の柱として、各事業の有機的な連繋や幅広い関連産業の取り込みを強化し、BtoB、BtoC両面から、食ブランド強化を通じた産業振興に取り組む。
- ◆海外に向けた農産加工品等の新たな付加価値商品の開発を支援するとともに、TPP11や日EU・EPA等の経済連携やHACCP等の世界基準に関する情報を積極的に提供する。

【主な活動】Food EXPO Kyushu、博多うまかもん市（関東圏の開催含む）、個別商談会 など



Food EXPO Kyushu 2018 九州うまいもの大食堂

③ 海外展開支援

- ◆海外展開に関するあらゆる相談に対応可能なワンストップ相談窓口の利用促進に取り組む。
- ◆他の支援機関と連携し、食品以外の分野で販路拡大事業を展開する。
- ◆海外展開支援委員会で海外の市場動向を調査し、地場企業に情報発信する。

【主な活動】ワンストップ海外展開相談窓口、販路拡大事業、海外展開支援委員会 など

④ 地域商店街活性化支援

- ◆地域の賑わいを創出するため、国内外の消費者や観光客から選ばれるモデル商店街の形成を目指し、取り組み意欲が高い商店街に対し、ビジョンやコンセプトづくり、実施計画の策定、計画実行のフォローまで、一気通貫した伴走型支援を実施する。

【主な活動】商店街伴走型支援、インバウンド対応促進、ナイトタイムエコノミー等への取り組み など

⑤ 政策提言・要望活動

- ◆中小企業に関する統計・調査データやヒアリングによる現場の生の声（商工業者、地域の課題やニーズ）に基づく要望活動の展開と施策実現を図る。
- ◆日商や連合会および部署間の連携強化を図り、情報量の増加と質の向上に取り組む。

- ◆行政との政策協議の充実を図り、トップ同士の提言・要望を実施し、実現度向上に取り組む。
- ◆当所事業と連動した部会・委員会活動を通じて、地域や中小企業が成長・発展するための制度改革や規制緩和などについて具体的な政策を提言する。

【主な活動】国・県・市への提言・要望活動、記者会見・会報誌・webなどでの情報発信 など

Ⅱ. 地域を支え、成長し続ける 商工業者の支援

- ▶事業者の持続・成長のための支援
- ▶企業サイクル（創業～成長～成熟～承継）に合わせた伴走型支援

⑥ 人材確保の包括的支援

- ◆深刻化する人材不足に対し、通年で企業と学生の出会いの場の提供機会を増やすとともに、採用担当者間の情報交換の場の提供、セミナー等による企業の採用力の向上支援や女性・高齢者・外国人労働者等の多様な人材の確保支援など、人材確保への支援に積極的に取り組む。
- ◆特に中小企業のニーズが高い中途人材の採用については、福岡市及び民間の大手転職サイトと連携し、UIIターンを含めた中途人材の確保支援を更に推進する。
- ◆当所がコーディネーター役となり、各人材確保支援機関による連携を進め、支援事業を調整・集約して横断的かつ細やかな支援を行う。
- ◆人財支援委員会で、多様な人材の活用推進策、人材の定着促進策、地元福岡での就職意識を高めるための施策等について調査研究し、その内容を当所活動に着実に反映する。

【主な活動】会社合同説明会、インターンシップ合同説明会【新規】、採用担当者情報交換会【新規】、学校と企業との就職情報交流会、会議所キャラバン事業、中途人材に特化した求人サイトの利用促進、人財支援委員会 など



学校と企業との就職情報交流会

⑦ 人材育成支援

- ◆社会変化や価値観の多様化を踏まえ、企業が求める人材を的確に把握し、ニーズに合った実務能力の向上支援に努める。また、リカレント教育に係る社会人の学び直し講座等に取り組む。

【主な活動】各種検定試験、実務研修講座、出前講座、リカレント講座【新規】、eラーニング など

8 創業支援（スタートアップ支援）

- ◆創業マインド醸成をはじめ創業後のフォローまで各段階に応じたきめ細かい創業支援を実施する。
- ◆成長分野に取り組む創業者に対し重点支援を実施し、ベンチャー企業を創出する。
- ◆創業・新産業創出委員会で、世界規模の市場で活躍する福岡発のベンチャー企業の創出に必要な環境整備や規制改革に関する要望内容、当所が実行可能な取り組み、福岡市のスタートアップ都市としてのプレゼンス向上のための取り組み等について調査研究し、当所活動へ反映させる。

【主な活動】創業マインド醸成セミナー、福岡起業塾、女性起業塾、ベンチャー向け起業塾【新規】、創業・新産業創出委員会 など

9 事業承継支援

- ◆大企業承継時代を乗り切るため、事業承継診断書を活用し、中小企業に対し徹底的に早期準備を促し、事業承継の円滑化を図る。
- ◆福岡県事業引継ぎ支援センターや福岡県事業承継支援ネットワークと連携し、プレ事業承継からポスト事業承継まで切れ目のない支援を提供し、事業承継を契機とした中小企業の成長を支援する。

【主な活動】セミナー・巡回・相談窓口・専門家派遣による事業承継への早期準備の促進、プレ事業承継からポスト事業承継までの伴走型支援、福岡県事業引継ぎ支援センターと連携したマッチング(M&A)支援 など

10 IT・ICTの活用による生産性向上支援

- ◆IT導入補助金等を活用し、中小企業に対して、業種や規模などを踏まえた身の丈ITの徹底的な普及を促進し(複数のビジネスアプリの導入提案)、生産性向上を図るとともに、売上アップの仕組みづくりを支援する。
- ◆福岡市と連携し、セミナーの開催やキャッシュレス商店街の実証実験等により、ITを活用した中小企業のチャレンジや生産性向上を後押しする「福岡中小企業元気都市推進事業」を推進する。

【主な活動】セミナー・巡回・相談窓口・専門家派遣による身の丈ITの導入支援、福岡中小企業元気都市推進事業 など

11 イノベーション支援

- ◆IoTなどを切り口としたイノベーションをテーマにしたセミナーの開催により『気づき』を促し、中小企業のイノベーションへの取り組みを促進する。
- ◆IoTコーディネーター、ITベンダー、研究機関等を配した集合ワークショップを実施し、業界の垣根を越えた新たなビジネスを生み出す場を提供する。
- ◆集合ワークショップの中から特に意欲のある企業を選抜して、

個別ワークショップによる重点支援を実施。議員、会員企業、行政などの会議所内外のネットワークを活用し、業務提携パートナーや販路拡大先とのマッチングまで支援し、当所発のIoTビジネスの先進事例を創出する。

- ◆先進事例創出ノウハウの横展開を図るとともに、創業・新産業創出委員会などと連携し、新ビジネスを創出するための環境整備に取り組み、IoTビジネスの集積を図る。

【主な活動】イノベーションセミナー、ワークショップ、ビジネスプランPR関連事業【新規】、開発した商品・サービスの商談支援 など



IoTセミナー・ワークショップ

12 伴走型支援

- ◆中小企業者の中でも、とりわけ自社の成長に意欲的な中小企業・小規模事業者に対し、重点支援を実施する。
- ◆顧客満足度を高めるため、企業の成長サイクルごとのメニューを見える化して提供する。

【主な活動】巡回・相談窓口・専門家派遣による重点支援、経営革新塾 など

13 消費税軽減税率・転嫁対策支援

- ◆2019年10月の消費税率引き上げや軽減税率制度の導入等に向けて、講習会等の開催や巡回訪問、相談窓口の設置等により、中小企業の円滑な対応を促す。
- ◆適正に消費税を転嫁できるよう、補助金を活用した複数税率対応レジや受発注システムの改修、複数のビジネスアプリ導入による生産性向上、アプリの蓄積データを基にした売上アップの仕組みづくりなど、中小企業のIT化や経営基盤の強化に資する経営支援を実施する。
- ◆行政と連携して、地域における消費を喚起・下支えするプレミアム付商品券を発行する。

【主な活動】消費税軽減税率・転嫁対策セミナー、巡回・相談窓口・専門家派遣による経営力強化・IT化の推進、プレミアム付商品券の発行 など

Ⅲ. 信頼され、進化し続ける 福岡商工会議所の実現

- ▶ 会員活動の推進
- ▶ 職員の資質向上
- ▶ 会員増強活動の強化
- ▶ 財務基盤の強化

⑭ 会員純増に向けた入会促進、退会防止強化

【強化ポイント】

- ◆ 中小企業の持続的発展・成長に向け「施策に基づく支援」と「会議所独自の支援」を融合させた「トータルサポート」の実施に注力し、会員の安定した増加を図る。

【入会促進】

- ◆ 入会動機上位事業（保険・経営相談・交流会・販路拡大）を始めとする各種事業を通じた訴求
- ◆ 接点履歴等の分析による事業の見直し、開発
- ◆ 各種事業を通じた非会員リストの活用促進

【退会防止】

- ◆ 退会率の高い未利用会員、2年目会員の徹底訪問（早期アプローチ実施）
- ◆ 新入会員への徹底したフォロー（入会後の再訪問、DM等を活用した事業利用アプローチ）

【交流会等】

- ◆ 出合いの場となる新入会員交流会、夏の会員交流会、異業種交流会を実施

【主な活動】 会員増強・維持活動、会員交流会 など



夏の会員交流会

⑮ 職員の資質向上

- ◆ 当所が職員に求める資格・検定等の取得・合格に向け、職員一人ひとりが策定した習得計画に基づき、着実に自己研鑽を図るとともに、商工会議所職員として必要な能力、現状を踏まえ、所内の教育制度を体系的に見直し、強化する。

- ◆ 生産性向上に向けて、所内のIT化に着手する。
- ◆ 業務改善・新事業検討チームの活用により、各部の実情を当所活動に反映するとともに、全所的な活動へ展開する。
- ◆ 業務の質を確保するとともに、事務効率化を図るため、職員全員が統一した基準のもと事務処理を行えるようマニュアル・ルールを整備する。
- ◆ 職員が活躍できる環境を整えるため、長時間労働の防止や年次有給休暇の取得促進などに取り組む。

【主な活動】 職員ごとの習得計画、資格の取得促進、若手塾、新教育制度の実施【新規】、働き方改革（生産性向上）、業務改善・新事業検討チーム など

⑯ ビル事業

- ◆ 当所ビル及び周辺ビルの利用状況やニーズを把握・分析し、安定した収益計上への対策を図っていく。また、当所ビル利用者に快適かつ安全安心な環境を提供する。
- ◆ 会議所活動を着実に継続していくために、ビルの維持・館内設備の更新・投資計画を実行する。
- ◆ マニュアル整備やシステム導入により、ビル管理業務の生産性向上を図る。

【主な活動】 テナント事業、貸会議室、設備更新・投資計画の策定、ビル管理業務の生産性向上 など

⑰ 140周年事業

- ◆ 2019年10月に創立140周年を迎えるにあたり、当所の140年の実績・活動を効果的にPRすることを通して、中小企業・小規模事業者との接点を増やし感謝の意を伝え、会議所事業・サービスへの理解促進・活用促進を図り、会員企業等がさらなる発展・成長することを目指す。あわせて、会員の満足度向上と会員維持、当所のブランドの向上につなげる。
- ◆ 職員が当所の役割・理念を再確認し、次の10年に向けて意欲と能力を向上させる契機とする。

【主な活動】 特設サイトの開設【新規】、永年継続会員・創業100年会員表彰【新規】 など

当所事業のほか、行政の施策や各種規制等に対してご意見ご要望がございましたら、是非皆様の声をお寄せください。
ご意見ご要望はこちらまでお願いします ▶ Email:fkikaku@fukunet.or.jp